

様式16. 3-1-1 (バルク様式4-1-1)

設備工事 (バルク貯槽) 届書 (別紙1-1)

1 バルク供給に係る技術上の基準に対応する事項

貯 蔵 能 力		Kg (Kg × 基)	
規則 19条	項 目	対 応 事 項	添付書類
3号 イ	バルク貯槽の規格	地上式・地下埋設式 容積 _____ m ³ 材質 _____	製品仕様書及び 明細図
3号 ロ	保 安 距 離	用途地域等 (①工業専用地域・②工業団地・③その他の地域) 第1種保安物件までの距離 _____ m 第2種保安物件までの距離 _____ m 敷地境界線までの距離 _____ m 構造壁等の有無 有・無	設置場所付近配置図 (保安距離を示す) 構造壁等の配置図、 構造図 施工時写真
3号 ハ		①試験合格品 ・ ②大臣認定品 元弁をみだりに操作できない措置	
	(1)	安 全 弁 及 び 安 全 弁 元 弁 所要吹出し量 $W_1 =$ _____ kg/h 規定吹出し量 $W_2 =$ _____ kg/h	
	(2)	液 面 計 ①試験合格品・②大臣認定品・③その他 方式: _____	
	(3)	過 充 填 防 止 装 置 ①試験合格品・②大臣認定品・③その他	
	(4)	カップリング用液流出 防止装置付き液取弁 ①試験合格品 ・ ②大臣認定品	
	(5)	ガス取出弁及び ガス放出防止器等 ①試験合格品 ・ ②大臣認定品 ガス放出防止器・緊急遮断装置 (①試験合格品・②大臣認定品・③その他・④無)	
	(6)	液 取 出 弁 及 び ガス放出防止器等 ①試験合格品 ・ ②大臣認定品 ガス放出防止器・緊急遮断装置 (①試験合格品・②大臣認定品・③その他・④無)	
	(7)	カップリング付き均圧弁 有 (①試験合格品・②大臣認定品) ・ 無	
	(8)	付属機器(1)～(7)の保護 プロテクター厚さ _____ mm	
	(9)	警 戒 標 表示内容: 液化石油ガス・LPガス・火気厳禁	施工後写真
	(10)	緊急連絡先の表示 表示内容:	施工後写真
	(11)	腐 食 防 止 措 置 1. 錆止め塗装 塗料の種類 _____ 膜厚 _____ μ m 2. 上塗り塗装 塗料の種類 _____ 膜厚 _____ μ m 3. 電気防しよく措置 (地下貯槽) ①有 (マグネシウム _____ kg× 本) ・ ②無 防しよく電位測定端子・プロテクターとの 電氣的絶縁・配管との絶縁継手等	施工時写真
(12)	支 柱 又 は サ ド ル 等 ①支柱 ・ ②サドル ・ ③その他	施工後写真	

設備工事 (バルク貯槽) 届書 (別紙1-2)

3号ニ (地上貯槽)	(1) 基礎	地盤面からの高さ _____ cm	施工時写真
	(2) 車両が接触しない措置	措置方法:	施工時写真
	(3) 支柱又はサドル等の固定		施工後写真
	(4) 接地	接続線の断面積 _____ mm ² 接続方法: 接地棒の直径 _____ mm 長さ _____ mm	施工後写真
	(5) 安全弁放出管の設置	頂部からの高さ _____ cm	施工後写真
3号ホ (地下貯槽)	(1) 頂部は地盤面下30cm以上	頂部埋設深さ _____ cm	施工図面・施工時写真
	(2) 埋設場所に車両乗入不可の措置	措置方法:	施工後写真
	(3) 浮き上がり防止措置	バルク貯槽空体総質量 _____ kg コンクリート板の質量 _____ kg バルク貯槽の全容積 _____ m ³ コンクリート板の容積 _____ m ³	施工図面・施工時写真
	(4) 石塊等のない土砂の使用		施工時写真
	(5) ガス検知用孔あき管設置	設置本数 _____ 本	位置図・施工時写真
	(6) 標識杭の設置		位置図・施工時写真
	(7) プロテクターのふた	不燃性断熱材の裏あて _____ mm	貯槽仕様図面
3号へ	2 m以内の火気をさへぎる措置及び屋外設置	敷地境界線までの距離 _____ m 措 置方法:	配置図 (火気距離示す) ・構造図・施工後写真
4号	貯槽は漏洩がないこと	試験圧力 _____ MPa	
5号	ガス漏れ検知器の設置 常時監視システムと接続	常時監視システム 有 ・ 無 常時監視装置設置場所 住所 _____ 名称 _____	無の場合にあっては、 告示に定める要件に 適合する資料
6号	貯槽と調整器の間の液状 液化石油ガスの滞留防止	① 単段減圧式をプロテクター内・ ② 二段減圧式一体型を貯槽の直近 ③ 二段減圧式分離型の一次側をプロテクター ④その他	施工後写真
7号	規則第18条第4~7号, 第8号の2~ 16号, 第18~22号の基準	(別 紙 3)	
8号	供給管の耐圧試験	耐圧試験圧力 貯槽~調整器 _____ MPa 調整器~メータ _____ MPa 一次調整器~二次調整器 _____ MPa	

設備工事 (バルク容器) 届書 (別紙2-1)

1 バルク供給に係る技術上の基準に対応する事項

貯 蔵 能 力		Kg (Kg × 基)		
規 則 19条	項 目	対 応 事 項	添付書類	
1号 (貯蔵能力千キロ) グ ラム 未 満)	イ	カップリング用液流出防止装置付き液取入バルブ	カップリング用液流出防止装置 (①試験合格品 ・ ②大臣認定品)	
	ロ	ガス取出バルブ及びガス放出防止器等	ガス放出防止器 ・ 緊急遮断装置 (①試験合格品・②大臣認定品・③その他・④無)	
	ハ	液取出バルブ及びガス放出防止器等	ガス放出防止器 ・ 緊急遮断装置 (①試験合格品・②大臣認定品・③その他・④無)	
	ニ	カップリング付き均圧バルブ	有(カップリング ①試験合格品・②大臣認定品) ・ 無	
	ホ	液 面 計	①試験合格品・②大臣認定品・③その他 方式: _____	
	ヘ	過 充 填 防 止 装 置	①試験合格品・②大臣認定品・③その他	
	ト	付 属 機 器 への 保 護	プロテクター厚さ _____ mm	
	チ	警 戒 標	表示内容: 液化石油ガス・LPガス・火気厳禁	施工後写真
	リ	緊 急 連 絡 先 の 表 示	表示内容:	
	ヌ	腐 食 防 止 措 置	1. 錆止め塗装 塗料の種類 _____ 膜厚 _____ μ m 2. 上塗り塗装 塗料の種類 _____ 膜厚 _____ μ m	
	ル	スカート又はサドル等	①スカート ・ ②サドル ・ ③その他	施工時写真
	ヲ	基 礎	地盤面からの高さ _____ cm	施工時写真
	ワ	車 輦 が 接 触 し な い 措 置	措置方法:	施工時写真
	カ	安 全 弁 放 出 管 の 設 置		施工後写真
ヨ	2 m 以内の火気をさえぎる措置及び屋外設置	敷地境界線までの距離 _____ m 措置方法:	配置図(火気距離示す) ・構造図・施工後写真	
タ	常に40℃以下に保つ		構造図	

設備工事 (バルク容器) 届書 (別紙2-2)

2号 (貯蔵能力千ニキ千ログラム以上未満)	イ	保安距離	用途地域等 (①工業専用地域・②工業団地・③その他の地域) 第1種保安物件までの距離 _____ m 第2種保安物件までの距離 _____ m 敷地境界線までの距離 _____ m 障壁の有無 有・無	設置場所付近配置図 保安距離を示す図面 (斜角距離を含む。) 貯蔵設備の構造図 (障壁の構造)
	ロ	火気を取り扱う施設距離 及び液化石油ガスの流動 を防止する措置	火気を取り扱う施設距離 _____ m 敷地境界線までの距離 _____ m 液化石油ガスの流動を防止する措置 _____	耐火性の壁類等の 配置図及び構造図
	ハ	屋根又は遮へい板	材質:	構造図
	ニ	消火設備の設置	消火器の個数 _____ 個 消火器の能力A-() B-()	設置場所の位置図
	ホ	規則19条1号イ~カ までの基準	(別紙2-1)	
4号	容器は漏洩がないこと	試験圧力 _____ MPa		
5号	ガス漏れ検知器の設置 常時監視システムと接続	常時監視システム 有・無 常時監視装置設置場所 住所 _____ 名称 _____	無の場合にあっては、 告示に定める要件に 適合する資料	
6号	容器と調整器の間の液状 液化石油ガスの滞留防止	①単段減圧式をプロテクター内・②二段減圧式 分離型の一次側をプロテクター内・③その他	施工後写真	
7号	規則第18条第4~7号, 第8号の2~ 16号, 第18~22号の基準	(別紙3)		
8号	供給管の耐圧試験	耐圧試験圧力 貯槽~調整器 _____ MPa 調整器~メータ _____ MPa 一次調整器~二次調整器 _____ MPa		

様式16.3-3 (バルク様式4-3)

設備工事 (バルク供給) 届書 (別紙3)

2 供給状況等

高圧部	主な管の材料		
中・低圧部	露出部	主な管の材料	
	埋設部	主な管の材料	深 さ _____ m
	ピット	① 有 (図面に明記すること。) ・ ② 無	
供給状況	調整器	①自動切替式(1.分離型・2.一体型) ②二段減圧式(1.分離型・2.一体型) ③単段減圧式	能力 _____ kg/h
	メーター	① マイコンⅡ ・ ② S ・ ③ SB ・ ④ E ⑤ EB ・ ⑥ その他 (_____), _____ 号	
	ガス漏れ警報器連動遮断装置	① 有 ・ ② 無	
	対震自動ガス遮断装置	① メーター内蔵 ・ ② 感震器連動	
	ガス漏えい検知装置	① 有(1.流量検知式・2.圧力検知式・3.流量検知式圧力監視型) ・ ② 無	
気化装置 (添付書類)	① 有 (形式 _____, 能力 _____ kg/h) ・ ② 無 (認定書の写し)		
消火器	能力単位 A- (_____), B- (_____) 本数 (_____) 本		

3 充てん設備に係る事項

項 目	対 応 事 項	添 付 書 類
充てん事業者	名称 _____	
充てん設備の種類	① 規則第64条第1項に基づく設備(新型) ② 規則第64条第2項に基づく設備(従来型)	
車輛登録番号	登録番号 _____	
貯蔵設備の記号及び番号	記号 _____ 番号 _____	
許可番号及び許可年月日	許可番号 _____ 許可年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日	
車輛停車位置	第1種保安物件までの距離 _____ m 第2種保安物件までの距離 _____ m	停車位置付近の図面

様式16. 3-4 (バルク様式4-4)

設備工事 (バルク供給) 届書 (別紙4)

4 設備士等

設備士名		設備士免状番号	県 No.
設備士再講習受講年月日	年	月	日
ポリエチレン資格者氏名	資格番号		
配管用フレキ管資格者名	資格番号		
施工後の表示	① 有 ・ ② 無	施工完了年月日	年 月 日
工事業者連絡先電話番号			
販売事業者名・電話番号	① 有 () ・ ② 未定		

5 その他の添付書類

1	現地への案内図 (最寄り駅から所在地までが確認できるもの)
2	供給管の配管図
3	施工設備士の免状の写し (再講習受講記録、ポリエチレン管及びフレキ管資格を含む。)
4	気密試験結果 (自記圧力計の記録用紙の写し) *中圧部分がある場合はその結果も必要